



金 鷄

令和5年7月7日
金沢小学校

(文責 三澤)

6月を振り返って

“一致団結” 150周年記念運動会

早いもので、運動会から1ヶ月が経ちました。今年度は久しぶりに大勢の保護者の皆様や地域の皆様に見守られ、大きな声援や拍手をいただくことができました。

開校150周年の記念の年でもあり、各学年とも、競技内容や競技名に工夫を凝らしていました。騎馬戦や組み体操など、コロナ前に行っていた競技の復活もありました。高学年の、仲間を信じて挑戦する姿や、真剣勝負を挑み、試合後は互いの熱戦を讃え合ったりする姿を見て、「かっこいい！」
「来年は自分もあれをやりたい」と口にする低学年の子も多く、上級生が活躍し、輝く様子に憧れの気持ちを持つ、良い機会となりました。

「一致団結 みんなでつなごう絆のバトン」のスローガンのもと、一人一人が精一杯の力を出し、仲間を応援し、頑張りに拍手を送る。競技だけでなく、係活動も責任をもってやり抜く。そして、校庭全体が盛り上がり、一体感を持つ。この運動会を通して、子ども一人一人の成長だけでなく、全校の連帯感も強まり、学校としても成長できたように思います。

雨後の校庭整備の必要上、一日延期しての開催になりましたが、当日は早朝から保護者の皆様にテント張りなどもお手伝いいただき、また、卒業生も力を貸してくれたりして、地域全体で応援していただいたお陰で、心に残る運動会を開催することができました。心より感謝申し上げます。

読書参観日 参観に来校いただきありがとうございました

15日(木)の参観日には多くの方にご来校いただき、ありがとうございました。こちらも久しぶりの参観ということで、大勢の保護者の皆様に来校いただきました。

読書参観日ということで、どの学年も読書に関係した授業をご覧いただきました。1年生は、子どもたちも楽しみにしていた「セカンドブック手渡しの会」を行いました。地域の方々にもプレゼンターとして加わっていただき、どの子も嬉しそうに受け取っていました。プレゼンターの皆様からも、「このような活動を知ることができて良かった」「受け取ったり、お家の人に読み聞かせをしてもらったりしている嬉しそうな顔を見て、こちらも嬉しくなった」といった感想を寄せていただきました。

その他の学年も、「レオ・レオーニさんの本の魅力をお家の方に紹介する」「パンフレットを使って長野県内市町村の魅力を調べる」「薬物など、体の害になるものについて調べる」「図鑑を使って生き物を調べる」「あたたかい土地と寒い土地の暮らしを調べる」など、読書の楽しさや調べることの面白さを味わうことのできる授業に取り組みました。

また、今年度から、学級代表委員さんによる読み聞かせも復活し、授業前のひととき、お家の方の選んでくださった本の読み聞かせに浸る子ども達の姿がありました。本を選んだり、練習したりと、お手数をおかけしていることと思いますが、登校してきて校長の顔を見るなり、開口一番、「今日はおうちのお母さん読み聞かせに来るんだよ！」と教えてくれる子もいたりして、とても楽しみにしている様子です。本当にありがたいことだと思っております。これからも、よろしく願いいたします。

続いて行われた学校保健員会では、学校歯科医の矢嶋先生に歯の健康についてお話ししていただきました。今までの常識と違う、新しい情報も得ることができ、大変勉強になりました。



防犯教室

8日（木）には防犯教室を行いました。

茅野警察署の方が指導にきてくださり、「自分を守ろう」というテーマで、登下校中の安全についてパワーポイントでの説明や、実演などを通して、不審者対応について学習をしました。

「不審者」というと、「サングラスをかけて、マスクで顔をかくして…」とか、何か怪しい行動をしている、といったイメージがあるかもしれないけれど、一見普通のおじさんやおばさんに見える人でも、不審者だということがある。

見た目よりも、「おかしをあげる」「車に乗せてあげる」「道を教えて」「家の人事故にあったから病院につれて行ってあげる」などの、「ことば」に気をつけよう。

といった、身を守るために大切なことを教えていただき、子どもたちも一つ一つうなずいたりして納得しながら聞いていました。

最後に、身を守る行動ということで、「手をつかまれたら姿勢を低くする」ことを、係の職員や6年生のデモンストレーションを交えて教えていただきました。

本校は、通学路途上に人家のない区間がある地区もあります。この学習を生かして、日頃から、自分の身を自分で守る意識を高めていきたいと思います。



読書旬間

12日（月）から23日（金）は、読書旬間でした。

読書ボランティアさんによる読み聞かせ、職員シャッフルでの読み聞かせ、おはなし給食などを通して、読書に親しむ機会を設けました。

また、児童会の図書委員の皆さんも、全校の皆と本をつなぐための企画を考え、活動を積極的に行いました。「かきこじぞう」の寸劇をしたり、その中で「委員からのおすすめ本」や、全校児童が自分の好きな本の中に出てくる料理をおすすめした中から選ばれた「おはなし給食」の紹介をしたりと、たくさんの工夫があり、休み時間の図書館は、大賑わいでした。

校長講話では、春の「こども読書の日」に読んだ「どうぞのいす」の続編、「ごろりん ごろんごろんろろ」の読み聞かせをしました。

今年度、本校では、学校が心安まる温かい居場所になることを願って、職員も子どもたちも、歌声やあいさつ、あたたかい言葉をかけあうことを大切に取り組んできています。

校長も、折りに触れて「温かいことば」をかけ合う良さや、優しさをテーマにした本の読み聞かせを行っています。この2冊の本も、あたたかい思いやりの心の連鎖が、柔らかな色彩の絵と、やさしい言葉づかいで描かれています。読み終わってから、本の感想を伝えてくれたり、「ごろりん…」を図書館で借りて読んだりする子もいて、少しでも願いが伝わったかな、と嬉しく思いました。

地域とともに歩む学校

～コミュニティ・スクール運営協議会が新たなスタート～

金沢は地域と学校が強く結びついており、金沢でしかできない活動や学校行事など、様々な面で支えていただけてきました。ただ、この数年、コロナ禍において様々な活動の制約もあり、思うに任せない部分もありました。そこで、今年度は、学校が、関わる全ての人（子ども、職員、保護者の皆様、地域の皆様）が「やりがい」を感じられる場になることを願い、コミュニティ・スクールの再構築を行いました。学校運営協議会と、金沢小学校応援団（仮称）を組織して、無理なく持続的に学校と地域がつながれる関係づくりに努めていきたいと思っています。地域の皆様や保護者の皆様に力をお借りしたり、助け合ったり、子どもや職員が地域にどんどん出かけていったりすることができることを願っています。